

# （日本）手話の 認知言語学的研究に向けて

本発表では、認知言語学の枠組を用いた手話研究の可能性を示し、これからどのような分析ができるか模索する。手話と音声言語の共通点から言語一般の特徴を捉えるために、これまでの音声言語に基づいた理論への負荷を下げるものとして、一般認知能力に言語は基づいているとする認知言語学の枠組を紹介する。意味論を中心に据え、身体経験基盤を唱え、イメージ図式を用いた事象構造、視点の反映、用法基盤の文法記述を取り上げ、議論したい。

---

**高嶋 由布子 氏（獨協大学）**

---

**11月26日（土）13時～17時（2011年）**

**国立情報学研究所（20階 2004号室）**

**日本手話学会会員：無料 / 非会員：1000円**

---

【通訳】 日本手話⇄音声日本語

【連絡先】 日本手話学会事務局 E-mail: [jaslinfo@jasl.jp](mailto:jaslinfo@jasl.jp) Fax: 075(315)8472

【お願い】 参加を希望される方は「日本手話学会第4回小研究会参加希望」とご記入の上、メールあるいはFAXで、事務局に「氏名、所属、メールアドレス」をお伝えください。尚、当日参加の方は国立情報学研究所が入っている建物の受付および研究会受付にて、参加者名簿に氏名をご記入のほどお願い申し上げます。また、頂いた個人情報は事務連絡以外に用いることはありませんので、ご理解およびご協力のほどお願い申し上げます。

